

σωτηρία

ソーテéria

知っておきたいキリスト教のことば (52)

救済 きゅうさい

「救済」という考え方は、あらゆる宗教の中で大切にされているのではないのでしょうか。しかしこの世の苦しみや悲しみから逃れること、悩みから解放されることなど、それぞれの宗教によって、その意味するものは違っているのかもしれませんが。

聖書の中では、病気をいやしたり、悪霊に憑かれた人から悪霊を追い出したりする意味で用いられることもあります。しかし聖書全体で語られているのは、神さまが歴史の中に介入して来られ、救いの手を差し伸べられたことです。

旧約聖書には、神さまがイスラエルの民をエジプトから救い出した出来事である出エジプト記が書かれています。

そしてイエス様の誕生とその生涯、十字架と復活において、旧約聖書の時代から待ち望まれていた「救済」が実現していきます。

新約聖書の中には、「この聖書の言葉は成就した」というような記述が多く見られます。これはイエス様の出来事が、旧約の預言者によって預言された、神さまの救いのみ業であることを意味しているのです。

ではキリスト教の救済とは何を意味するのでしょうか。それは「罪からの救い」です。わたしたちの罪を赦し、わたしたちを罪の束縛から解放すること、それが神さまの救いの計画なのです。そのためにイエス様をこの世に遣わし、罪の贖いのためにささげる犠牲として、イエス様を十字架へと向かわせられたのです。

救済は、最終的にはイエス・キリストの再臨のときに完成されます。しかし今、イエス様を信じる人はすでに義とされています。イエス様の十字架によって神さまとの和解が与えられ、救いにあずかっているのです。

次回は「Q 資料」です。楽しみに。



映画「十戒」より

モーセを演じたチャールトン・ヘストン

(1956年)

この時にあってあなたが口を閉ざしているなら、ユダヤ人の解放と救済は他のところから起こり、あなた自身と父の家は滅ぼされるにちがいない。

(エステル記 4章 14節 a)

